



## 地域と協調を図りながら、会員増強

### 北九州市小倉南区 豊会

とよのかい

- 会員数 234名（男性105名・女性129名）



ウォーキング



北九州市小倉南区



### 会員増強を図る

毎月、会の会合、町内会との会合を行って住民の入退居状況等の把握に努め、また行事等の情報交換にも積極的に参加協力しています。同様に町づくり協議会、老連、市民センターとの交流等の企画にも進んで参加して関係も深まりました。町内会の協力で回覧板を活用、さらに未加入者全家庭を訪問しました。

私たちの住む企救丘地区は、都市開発計画に伴い区画整備された、環境の良い、働き盛りの人たちのベッドタウンでした。しかし居住して35年、高齢化も早いスピードで進んでいて深刻です。

平成23年、会員減少に歯止めをかけなればと、クラブ役員、会長経験者、町内会執行部等で意見交換を重ねました。現状の問題点が確認され、「リーダーの増員」「クラブ数の拡大」「町内会や町づくり協議会との連携」等、誰でも参加できる環境づくりの整備が必要との意見が一致して、一気に会員増強する計画となりました。



キャンプ場の昼食

はすべての行事案内を、回覧だけでなく、訪問して呼びかけを実行。要望や情報も収集して、計画に取り入れています。未加入者の反応は回を重ねることに結果が表れて、「これら参加しよう」と参加者も増えつつあります。また、回覧することでの次世代の人の理解と関心を持つてもらえることが、より活発な活動につながる要因になると考えます。

- ①月2回「防犯防火の見回り」
- ②通学路で「子どもの見守り」
- ③集会所や公園で「花壇づくり」
- ④サーカル「ウォーキングの会」
- ⑤「おしゃべり茶飲み会」
- ⑥毎年の総会は会員の集まりが一番多く、総みにされている方が多くいます。

### 今後の取り組み

高齢社会の中で自助から共助へと進行しつつあり、今後、友愛活動は必要不可欠となります。目標は、古い言葉ではありますが、『向こう三軒両隣』を復活させること。ご近所の日常の挨拶や気配りが生きがいや健康につながり、「お互いが見守ることで支え合える地域づくり」に邁進したいと考えます。

市・校区老連行事は積極的に参加して活動の向上に取り入れ、多くの人に交流の輪が広がるように地域との協調を図りながら活動を充実させ、会の一層の発展を目指します。



みんなでカレーブクリ

既存のクラブ活動は、グラウンド・ゴルフ、カラオケ愛好会、ゲートボール、ペタンク等でした。新規の活動として、次のことを実施しています。

- ①居住者の連帯意識の向上が目的。夜、玄関を開けて「ご苦労様、ありがとうございます」の声をいだいています。
- ②老人クラブジャンパーを着用して、ウォーキングや通勤の方との挨拶は老人会の周知になり、会員増強に貢献しています。
- ③集会所や公園で「花壇づくり」

（会長 白石功二）

### 「できることから実行」

#### 合言葉は

### 今後の取り組み

四季の花を植え、老人会の看板を立てて周知、訪れる人に楽しんでいただいているいます。

今後も会員増強を図るために、新規事業で活性化させていきます。

また、市工コタウン施設研修、環境講演会等は回覧で募集しますので、未加入者宅へも案内が回り、新規加入の促進につながっています。回覧により多くの人に周知できるようになり、交流の機会も増えています。

会後のふれあい親睦会で楽しさ一杯、交流の輪が広がります。

今後も会員増強を図るために、新規事業で活性化させていきます。

また、市工コタウン施設研修、環境講演会等は回覧で募集しますので、未加入者宅へも案内が回り、新規加入の促進につながっています。回覧により多くの人に周知できるようになり、交流の機会も増えています。

会後のふれあい親睦会で楽しめ一杯、交流の輪が広がります。

今後も会員増強を図るために、新規事業で活性化させていきます。

また、市工コタウン施設研修、環境講演会等は回覧で募集しますので、未加入者宅へも案内が回り、新規加入の促進につながっています。回覧により多くの人に周知できるようになり、